

リチウムイオン電池の火災に注意

近年、多く発生しているリチウムイオン電池火災。

リチウムイオン電池はノートパソコン、スマートフォン、タブレット、モバイルバッテリー、電子タバコ等、様々な電気機器に使用されており、皆様にとって身近なものとなっていますが、使い方や捨て方を誤ると火災につながる恐れがあります。

リチウムイオン電池搭載製品の火災を防ぐポイントを確認しましょう！

～リチウムイオン電池搭載製品の火災を防ぐポイント～

- ①充電する時は、必ず専用のアダプタ・電源コードを使用する。
- ②自動充電停止機能等がないものは、定められた充電時間を守る。
- ③長期間使用しない時は、電池残量を半分以上残した状態で保管する。
- ④高温になる場所に放置しない。
- ⑤落下等で大きな衝撃を加えないよう、丁寧に扱う。
- ⑥性能の落ちた電池は使用しない。
- ⑦電池を捨てる時は、家電量販店、ホームセンター及び携帯電話ショップ等の回収ボックス(リサイクル)を利用する。



～リチウムイオン電池が出火する前兆～

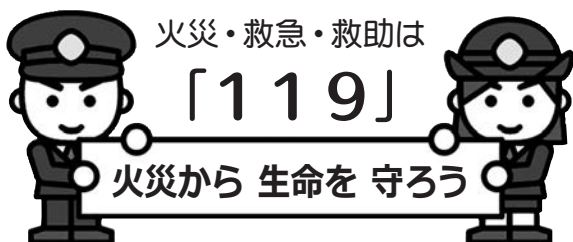
- ①リチウムイオン電池が膨らんできた。
- ②電気機器使用時に異音又は異臭がする。
- ③電気機器の使用時間が短くなってきた。
- ④充電が最後までできない。
- ⑤充電中に電池が異常に熱くなる。

～リチウムイオン電池・電池使用製品の判別方法～

- ①リチウムイオン電池本体には、リサイクルマークが表示されています。
- ②電池使用製品には表示がなくても、「充電できる製品」や「電源につながなくても動く・光る等する製品」には、リチウムイオン電池が使用されている可能性があります。



リチウムイオン電池が使用されている製品の具体例



紙面に関するお問い合わせ
火災予防に関するご相談は



留萌消防組合小平消防署 管理課 予防保安係
電話：56-2221 FAX：56-9022